



令和2年9月30日(水) 10:30～ 日経ホール

井上内閣府大臣御挨拶

内閣府特命担当大臣の井上信治です。日経SDGsフォーラム特別シンポジウム「トクホで考える健康新時代」の開催にあたり、一言御挨拶申し上げます。

このたび、「特定保健用食品の表示に関する公正競争規約」が認定され、また、同規約にかかる公正取引協議会が発足する運びとなりましたことを、大変嬉しく思います。

昨今、消費者の間では食品の安全とならび食品を通じた健康づくりへの関心が高まっています。人生100年時代を迎え、高齢化が進展し生活習慣病が増加する中、中高年世代を中心に、食品のもつ健康増進に関する機能への関心はますます高まっています。

このような中、エビデンスを有する食品として国の許可を受けた特定保健用食品、いわゆるトクホへの期待はますます高まっています。

このたび、活発なご議論を経て、業界の自主ルールである公正競争規約が設定されたことは、トクホ制度の実効性向上、コンプライアンスの強化、更に一般の認知度の向上のために大変意義のあることです。

残念ながら、トクホに対する消費者の認知度は30%程度にとどまっており、トクホを国民の健康の維持、増進に役立てていくためにも、まずは消費者の認知度を高めることが大きな課題です。

そのために、消費者庁としては、今後設置される協議会とも連携し、消費者への積極的な普及啓発を行い、理解促進を図ってまいります。

本日のフォーラムを契機として、国民一人一人のさらなる健康増進につながり、安全で安心して豊かに暮らすことが出来る社会が実現されることを期待します。

このたびは、おめでとうございます。

(終)